

向日市こども育み宅食 2020年度報告書



目次

1. 代表メッセージ	-----	p.2
2. 事業概要・事業実績報告	-----	p.3
3. 事業に対する寄付物品	-----	p.4
4. アンケート結果報告	-----	p.5-p.6
－アンケート調査の概要		
－アンケート調査の結果		
5. ご利用者さんの声	-----	p.7
6. 会計報告	-----	p.8
7. 2021年度事業計画	-----	p.9
8. 今後の課題	-----	p.10
9. ご協力いただいている皆様	-----	p.11
10. ご支援・ご協力をお願い	-----	p.12



1. 代表メッセージ

向日市こども育み宅食は、2020年の夏頃に立ち上がり、同年の11月には第1回目の配送を実施することができました。その後も、12月にクリスマス特別配送を実施し、1月配送、3月配送と2020年度中に合計4回の配送を行い、向日市内で支援を必要としている子育て世帯に少しずつアプローチできるようになりました。弊会が、このような活動を実施できておりますのは、この『向日市こども育み宅食』という事業に賛同し、日々ご支援・ご協力いただいております地域の皆様のお陰であると常に感じております。心より感謝申し上げます。

2020年度は、向日市内にある合計6小学校区のうち、2小学校区のみでの実施に留まりました。他の小学校区のご家庭に支援の手を伸ばすことができない歯がゆさと戦う日々が続きましたが、2021年度には向日市内の全域にて本事業を展開できるように準備を進めております。1日でも早くその準備を整え、1世帯でも多くのご家庭にこども宅食を届けることができる様に精進して参ります。

我々は、本事業のご利用者様に食料品や日用品等をお届けし、それと同時に子どもたちに笑顔や希望を届けることができると確信しております。この有意義な活動を更により良いものとするべく、皆様のお気持ちをご支援という形で頂戴できればと考えております。地域の企業様や団体様、農業関係者様、地域住民の皆様のご支援のもと、地域で子どもたちを育むことができる環境構築を共に進めてみませんか。金銭面でのご支援や物品面でのご支援、ボランティアとしてのご協力等、様々な形での皆様からのご支援をお待ちしておりますので、今後とも本事業をよろしくお願い申し上げます。

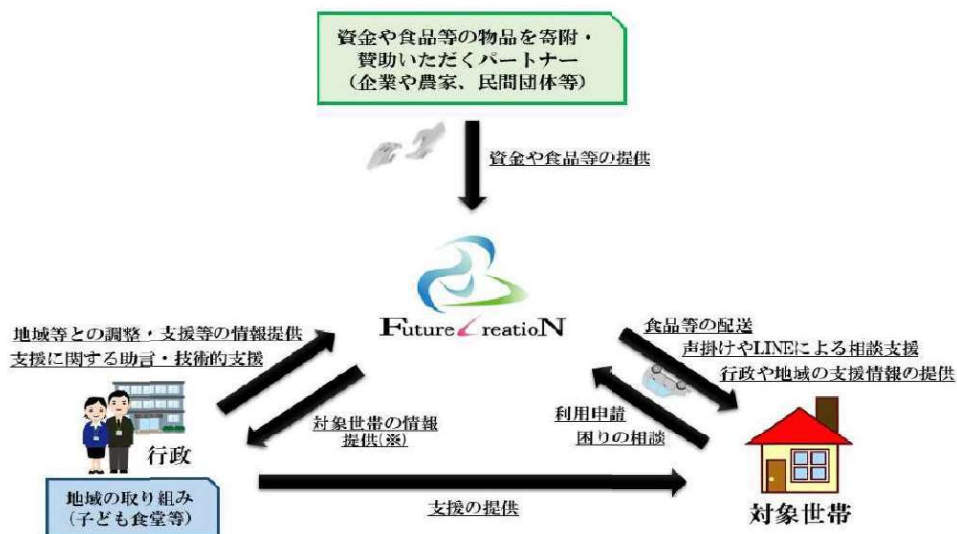
一般社団法人FutureCreation
代表理事 森 干晟
(もり かんせい)

2. 事業の概要

一般社団法人FutureCreatioNでは、向日市にて2020年度の中頃より、『向日市こども育み宅食』としてこども宅食事業に取り組んでいます。昨年度には合計4回（特別配送を含む）の配送を行い、順調に配送ノウハウや見守りの経験を蓄積してきました。

こども宅食事業とは、生活の厳しいご家庭に定期的に食品等を『届ける』取り組みです。食品等を『届ける』ことにより、そこから『繋がり』を作り、各ご家庭を見守りながら必要に応じて様々な支援に『繋げる』ことを目指しています。そして、向日市では弊会がアウトリーチの宅配という手段を用いて、食品等を対象の方々に届けると同時に、各家庭の困りごとや悩みごとをいち早く見つけ出し、適切な機関や団体に繋げる役割を担っています。

この事業には、既に向日市で活躍されている子育て支援団体等にも参画していただき、より良い子育て環境・住み良い向日市を創り上げる社会貢献事業の一環として実施しています。また、上記の取り組みについては、向日市内の企業や団体、農業関係者、向日市内にルーツを持つ企業・団体等からの寄付金や寄付物品等を元を実施しています。



※ 情報を提供する場合には、事前に対象世帯から許可を得ることとする。

2. 事業実績報告

配送回数



4回

(クリスマス特別配送を含む)

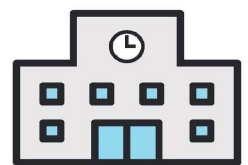
のべ配送世帯数



96世帯

(クリスマス特別配送を含む)

支援地域



第5向陽小学校(4回)
向陽小学校(2回) 校区

配送品(例)

お米(約5kg)、野菜類、お菓子
飲料品、乾物・レトルト食品等
マスク・消毒ジェル、日用品等



3. 事業に対する寄付物品

分類	企業・団体名	寄付物品の内容	総数
食品	(株)LIV	・ さつまいも	30本
	キューピー みらいたまご (財)	・ マヨネーズ	8本
		・ パスタソース	7袋
	認定NPO法人 フローレンス	・ カップ麺	84個
	匿名	・ チャーシュー	28個
		・ 切り餅 (1kg)	9袋
	フードバンク 京都	・ お米	320kg
		・ 板こんにゃく	237個
		・ 味付きこんにゃく	100袋
		・ キャノーラ油(200g)	24本
		・ カリフォルニア産 レーズン	80袋
		・ 卵	300個
		・ 野菜類	360個
		・ 調味料類	176個
		・ 缶詰・乾物類	15個
		きょうと フード センター	・ お米
	・ スパゲッティ(500g)		4袋
	・ さんま蒲焼(缶詰)		30缶
	・ 京雑炊(1人前)		40袋
	・ 牛丼(1人前)		40袋
・ 中華丼	30袋		
・ カレーライス	30袋		

分類	企業・団体名	寄付物品の内容	総数
飲料	(株)LIV	・ 麦茶550ml	72本
		・ ジュース500ml	120本
	フードバンク 京都	・ アイスコーヒー	87本
		・ ジュース類	9本
		・ お茶類	22袋
	きょうと フード センター	・ アミノ酸アクティブ	24缶
匿名	・ インスタントコーヒー	2本	
お菓子類	匿名	・ クリスマスケーキ15号	16個
	フードバンク 京都	・ フルーチェ等	5袋
	きょうと フード センター	・ ライスクッキー	144箱
		・ カロリーメイト	120個
・ マカデミアナッツ チョコレート		42箱	
日用品	向日市さくら きッチン	・ ジップロック(試供品)	40袋
	フードバンク 京都	・ ラップ	20本
		・ ボディーシート	20袋
		・ フローリングワイパー用 ドライシート	81袋
		・ お茶パック(60枚)	70個
		・ ゴミ袋45L(50枚)	40袋
		・ PET飲料瓶(300ml)	200個
	衛生 医療 品	フードバンク 京都	・ 手作りマスク
認定NPO法人 フローレンス		・ キレイキレイ薬用 ハンドジェル	600本
匿名		・ 不織布マスク (50枚)	400箱
健康 食品	ハマリ産業 株式会社	・ オーラルPC(90粒)こども用	480本



4. アンケート結果報告

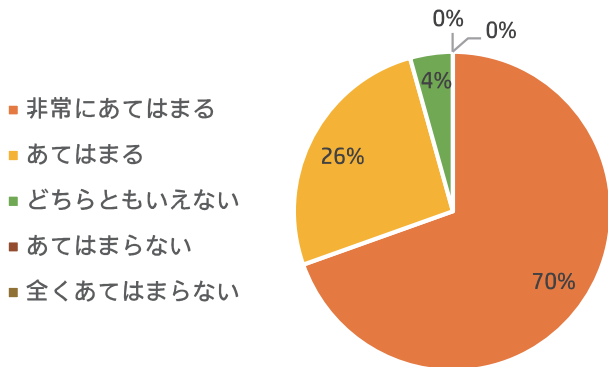
《アンケート調査の概要》

測定方法	2021年3月度の第3回配送時、及び公式ラインアカウントを介してweb入力式のアンケートへの回答を依頼
評価対象期間	2020年11月（第1回配送）から2021年3月（第3回配送）
実施期間	2021年3月14日から2021年3月31日
調査対象	向日市こども育み宅食ご利用家庭
回収数	23世帯
回収率	64%

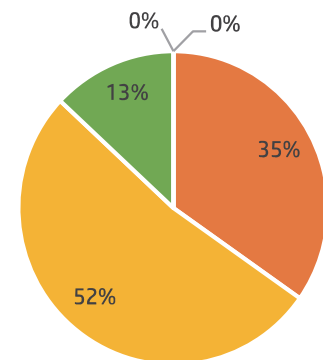
《アンケート調査の結果》

【こども宅食事業実施団体に対するイメージ】

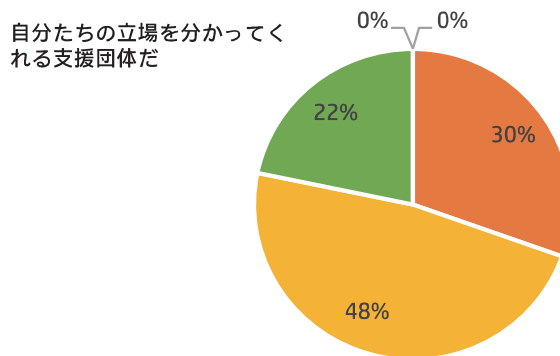
こども宅食は助けになる、よい事業だと思っている



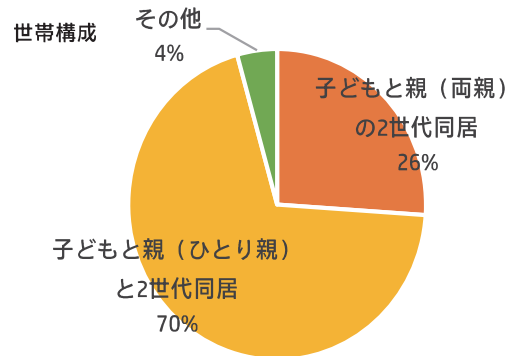
実施団体のことを信頼している



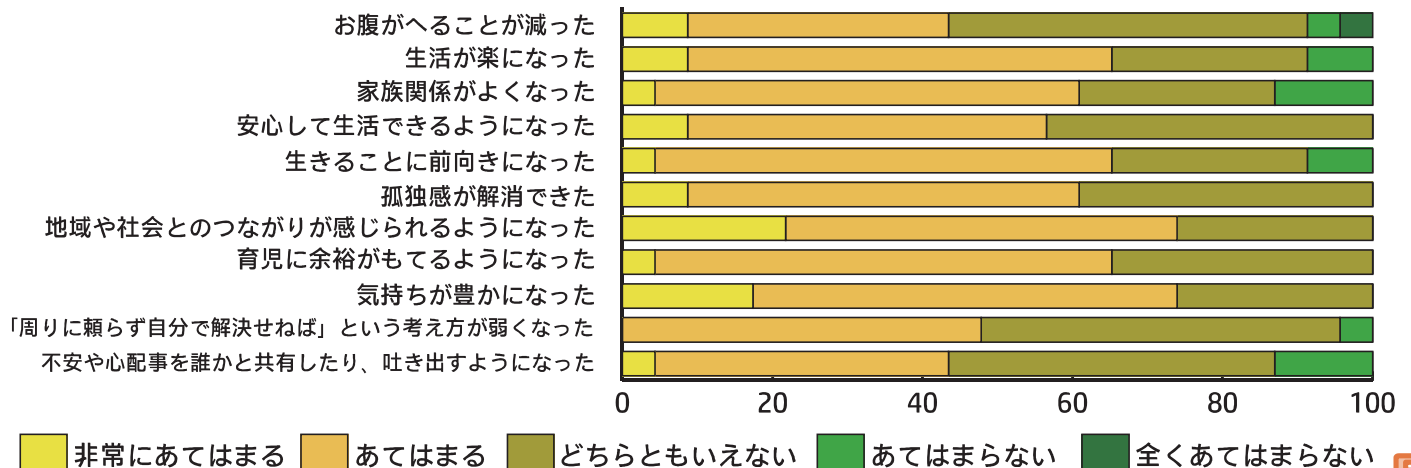
自分たちの立場を分かってくれる支援団体だ



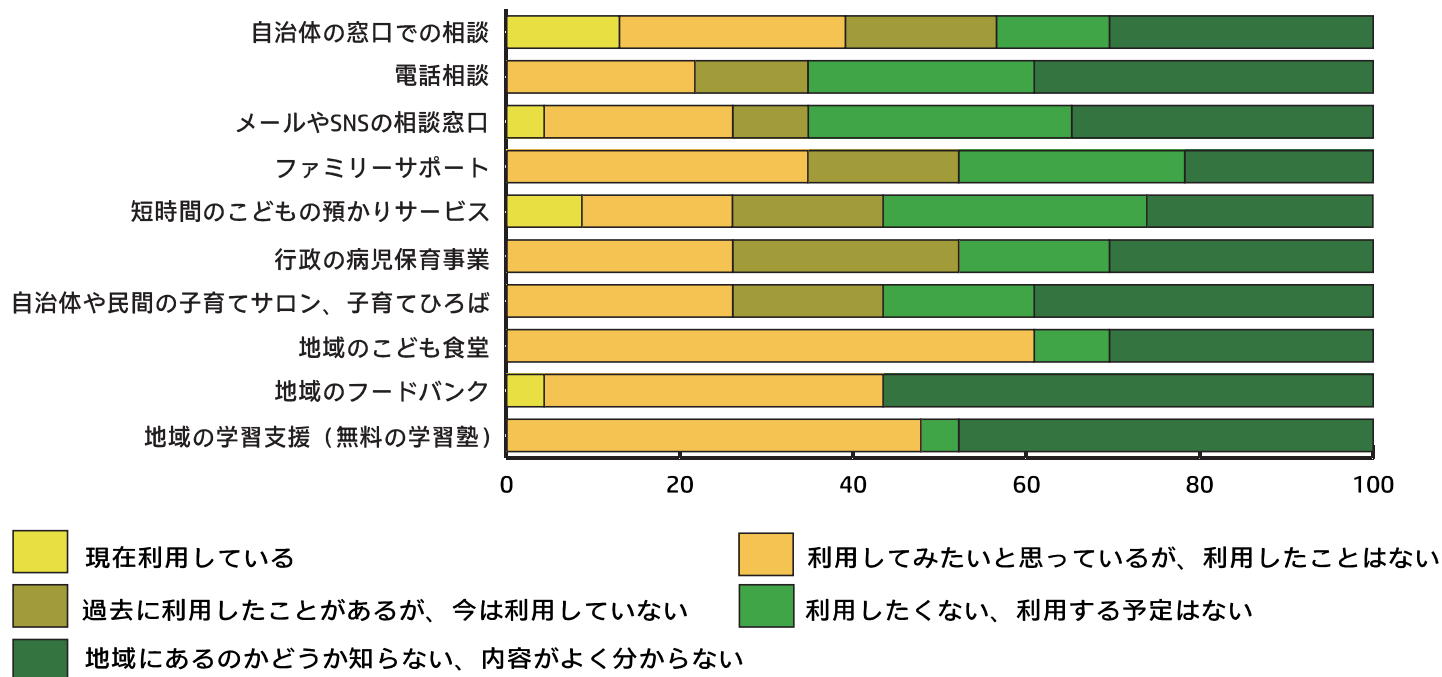
世帯構成



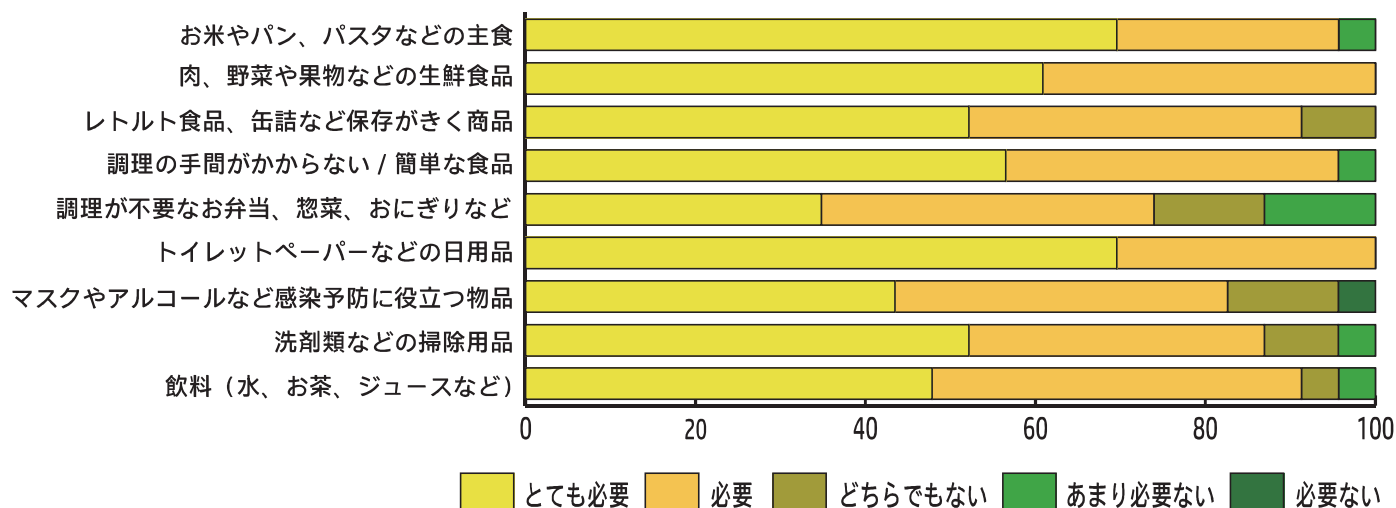
【こども宅食利用によるご自身・家族の変化】



【地域での支援、福祉サービスの利用状況】



【食品や日用品として、いまどのようなものがあるといいと思いますか？】



《アンケート調査の考察》

21世紀に入って共働き世帯は、年々増加し、2019年には子どもがいる世帯における夫婦共働きの割合が72.4%にもなっている。家計の消費支出の規模は1970年当時の約4倍に拡大していて、中でも子どもの減少と相反して教育費用が増加していることも一因と考えられる。その現代において、ひとり親世帯の経済面はかなり厳しく、また、仕事と子育てに時間を取られている状況にある。今回のアンケートでも利用世帯の約70%はひとり親世帯である。

また、コロナの影響により解雇や就業時間の短縮、休業で減収している世帯が増えているため、もともと孤立している世帯がより一層孤独感や不安感、ストレスが増している状況にある。

アンケート結果から、こども宅食を利用することによってこれらを解消することに役立っていることが見受けられる。しかしながら、地域での支援や福祉サービスを現在利用している世帯は、約3%に過ぎず、「地域にあるかどうか知らない、内容がよく分からない」が約35%と全体で一番高くなっている。このことから、色々な支援や福祉サービスがあっても情報が行き渡っていない状態にあると考えられる。今後、色々な理由からなかなか自分から支援に繋がれない、相談することが出来ない方々とこども宅食を通じて関係性を築き、相談しやすい環境をつくり、適切な支援に繋ぐことが期待が出来ると考えられる。

5. ご利用者さんの声



いつも、お世話になり、ありがとうございます。相談できず、色々なことを悩んだり、不安な気持ちで生活をしている方が、たくさんいると思います。これからも、助けていただけたら、嬉しいです。よろしくお願いします。



この度はありがとうございました。末っ子の学校からのお便りに入ったプリントを見て、長男と登録してみようかと話、利用に至りました。去年に主人を亡くし、自分のことしか考えられない日々を子供たちに申し訳ない思いの中、ひとつの会話として子供たちと共有できたこと有り難く思います。ひとり親家庭それぞれの状況や思いは違い支援する側も難しいのだろうと考えています。子供が成長したらいつかお手伝いできればと今は思っています。



申し込むのは恥ずかしかったのですが、勇気を出してよかったです。子供にお腹いっぱい食べさせることが出来て感謝です。

感謝しています。ありがたく利用させて頂いています。



先日はありがとうございました。頂いたものを皆で見て話す機会となったことも嬉しかったです。

生活が苦しくなると、まず食費を削ることになるので、食品は本当に助かりました。



初めて利用させて頂きました。生活維持に追われ全く余裕の無い生活に少しでも、ゆとりが持てれば良いなと思います。宜しくお願いします。



普段はお菓子やジュース等を買う余裕がないところ、こちらでいただき子供が喜んでいました。



いつもありがとうございます。クリスマスの時のケーキは、とっても嬉しかったです。



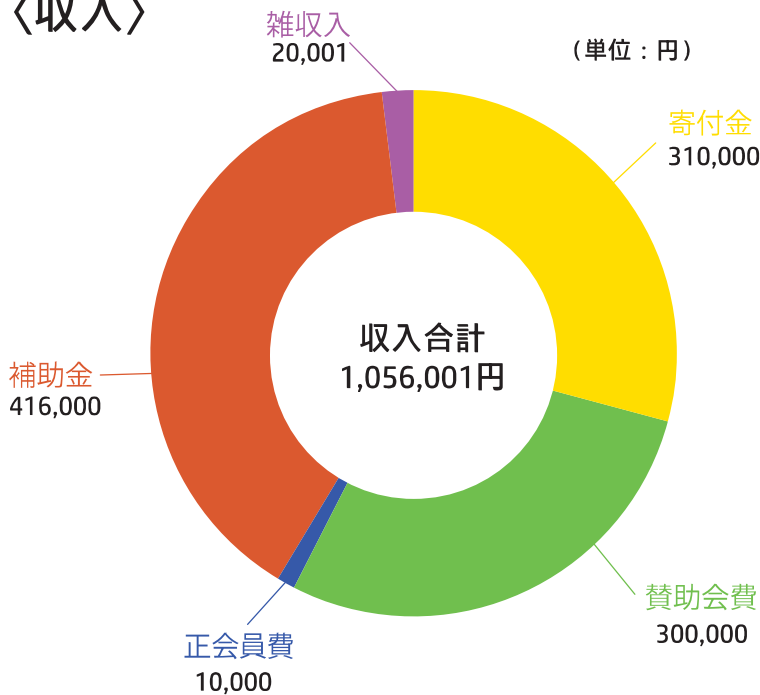
このご時世皆さん大変なか、ひとり親家庭にご支援してくださり本当にありがとうございます！

子供の事など心配事や不安な事など、悩んだ時に、1人で悩んでいましたが、相談できる場所があることを知り、少し気持ちが楽になりました。いただいた物を通して、家族の会話も増え、穏やかになりました。体調が悪く、ご飯を作るのも、しんどかった時に、すぐ食べれる物をいただけて、すごく助かりました。ありがとうございました。

いつもありがとうございます！子供たちと一緒にワクワクしながら届けてもらった物を見てます！お米、マスク、アルコール等、必需品なのでとても助かっています！

6. 会計報告

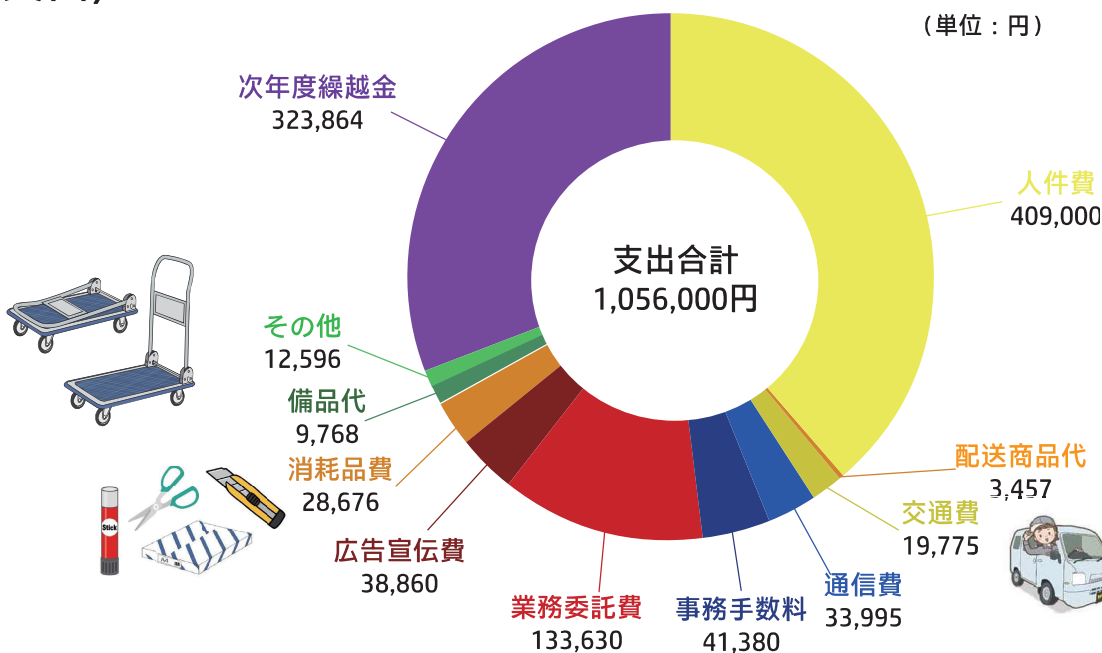
〈収入〉



当法人事業に賛同して下さった各企業・団体様からのご寄付と賛助会費が620,000円。京都府地域交響プロジェクト交付金が416,000円。雑収入20,001円を合計して1,056,001円を収入源として活動して参りました。



〈支出〉



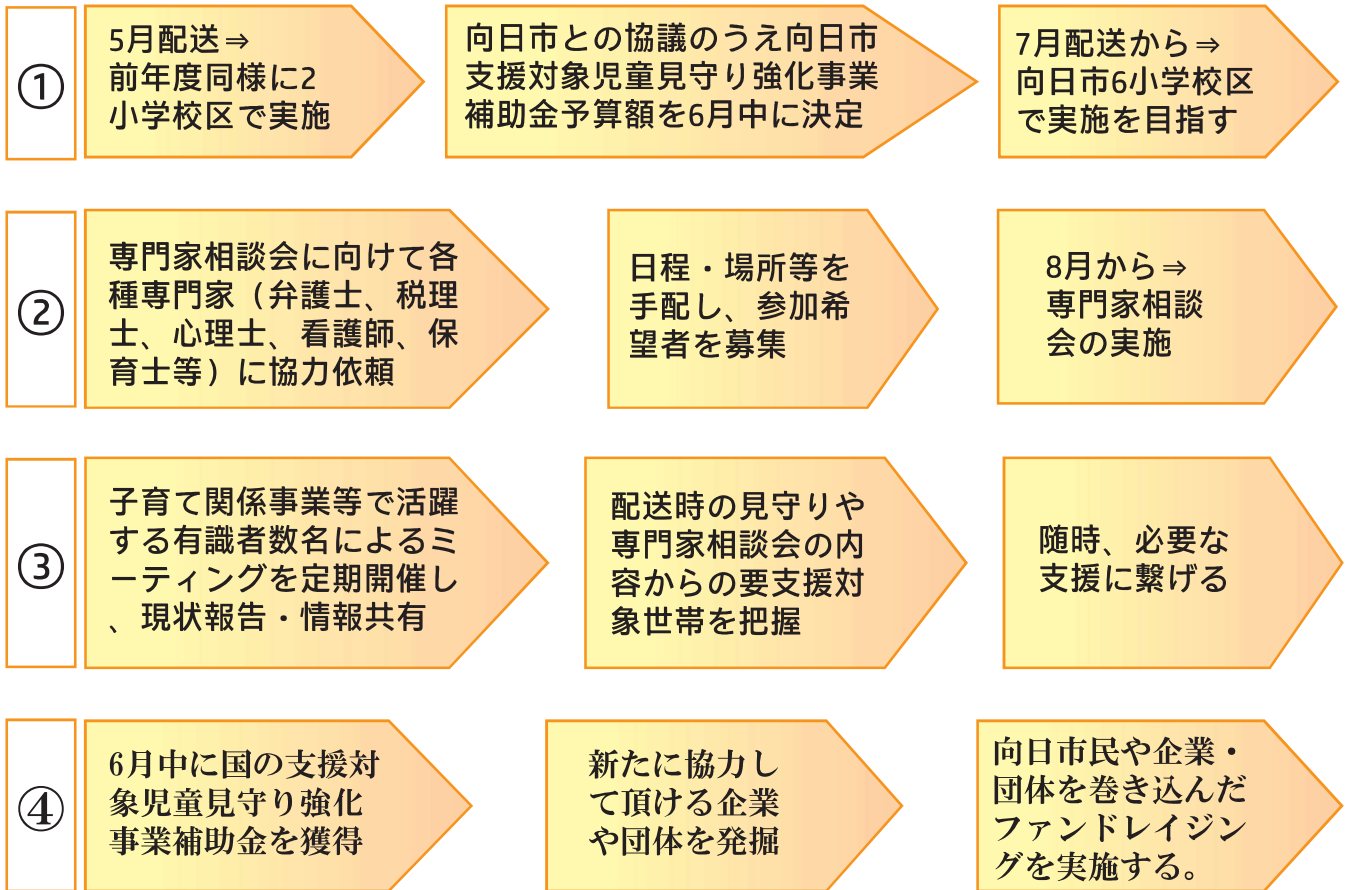
- ・ 人件費は、事務処理や梱包、配送等、この活動を支えるスタッフのものです。
- ・ お届けする食品・日用品等の多くは、企業・団体様からのご寄付です。配送商品代として計上した費用は、ご寄付いただいた食品のバランスを見て、一部追加購入するために使用しています。
- ・ 広告宣伝費は、この事業に賛同して頂ける企業・団体様を募集するためのパンフレット作成経費です。
- ・ 業務委託費は、HP作成費や学校から配布して頂く案内チラシのデザインや印刷代です。
- ・ 差引残高の323,864円は、来年度事業に繰越いたします。











7. 2021年度事業計画

重点目標

- ① 向日市内全小学校区にてこども宅食事業の実施を目指す。
- ② 向日市等の行政及び、関連民間団体との連携関係を構築する。
- ③ 配送及び見守りを実施しながら、随時必要な支援に繋げることを目指す。
- ④ 安定した財源確保に努める。

展開計画



4月	5月	6月	7月	8月	9月
					
10月	11月	12月	1月	2月	3月
					

配送スケジュール



2ヶ月に1回、奇数月に配送します。

専門家相談会



8月から偶数月に行います。

8. 今後の課題

対象世帯について

対象世帯を市内2小学校区の就学援助制度等の利用世帯やひとり親世帯等で小学生の子どもがいる家庭に限定していたが下の子どもが卒業されて対象外になる家庭のなかには、継続支援を希望される家庭があった。

実際には、小学校を卒業しても生活に変化はなく、むしろ食費や学費が増えることで経済的には苦しくなる。今回は、継続支援を希望される家庭の面談を行い1年間の継続支援を決定したがその間に必要な支援に繋ぐようにするとともに今後、対象家庭を拡大していく必要がある。

適切な支援

相対的貧困に直面している家庭には、子どものことから親の介護や仕事、家計のことなど抱えている問題点は様々である。

様々な問題点がある家庭を適切な支援に繋げるためには、専門的な知識も必要になる。今後、専門職の方々と構成する対策委員会を立ち上げ、対応していきたい。

相談体制

配送時に見守りと同時に困りごとなどないか伺うが、利用者もどこまで相談していいものかわからなかったり、なかなか言い出せない利用者もいる。

各種専門家相談会を定期的を開催する。具体的な事例を示して、利用者が相談しやすいように募集し、予約制にする。また、外部からは、わからないようにすることで、相談しやすい環境をつくる。

協力企業・団体の発掘

この事業の立ち上げと同時に向日市とは、この事業の必要性や国の支援対象児童見守り強化事業補助金、協定について、申入れをしてきたが、なかなか受け入れてもらえず、2020年度については、企業や団体からの賛助会費やご寄付と京都府地域交響プロジェクト交付金を受けることで、事業を実施することが出来た。

早期に国の支援対象児童見守り強化事業補助金を獲得し、向日市との協定を締結することで、向日市全校区での実施を行う。また、この事業の認知度を上げることで、新たに協力して頂ける企業や団体を発掘する。

財源について

この事業の本格実施に向けて、安定した財源を確保する必要がある。向日市財源からこの事業に予算は出ないと言われているので、国の支援対象児童見守り強化事業補助金が10割国負担の間は、何とかこの補助金を活用することが出来たとして負担割合が変わった時点で活用できなくなる可能性がある。

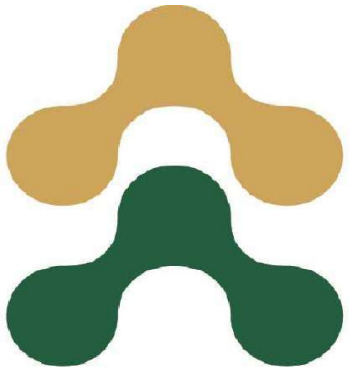
国の支援対象児童見守り強化事業補助金割合が国10割負担の間に安定した財源確保するために

- ・定期的に賛助して頂ける賛助会員を発掘する。
- ・向日市民や企業・団体を巻き込んだファンドレイジングを実施する。

9. ご協力いただいている企業・団体の皆様



日東薬品工業株式会社



LIV

未来図は、対話のなかにある。



関西オンライン学習塾



人々の健康と幸福に奉仕する

ハマリ産業株式会社

有限会社 吉川工務店

一般社団法人こども宅食応援団

有限会社九左衛門五十棲建材

松雄建設株式会社

特定非営利活動法人フードバンク京都

社会福祉法人京都府社会福祉協議会きょうとフードセンター

向日市さくらきっちん

特定非営利活動法人子育て支援ねこばす

有志の皆様

他多数

(敬称略・順不同)

皆様からの温かいご支援、心より感謝申し上げます
引き続き、よろしくお願い致します

10. ご支援・ご協力のお願い



《寄付金によるご支援》

『向日市こども育み宅食』は、皆さまからのご寄付によって支えられています。新型コロナの影響等で経済的に厳しくなったご家庭へ届ける食料や物資の調達費、配送費にまず寄付金を充当いたします。また、必要な支援に繋げるための相談会等の実施にも充当していきたいと考えております。皆さまのご支援で1世帯でも多くの対象世帯に手を差し伸べることができるように、是非ご支援・ご協力をお願いいたします。

企業・団体用



個人用



《寄付物品によるご支援》

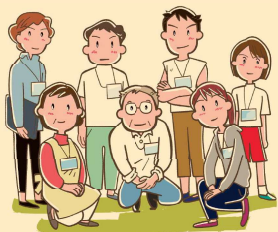
寄付金によるご支援だけでなく、寄付物品によるご支援・ご協力もお願いしています。いただいた寄付物品は、こども宅食の配送梱包品として活用させていただきます。

- 下記のような寄付物品を受け付けています。 -
- ・お米や野菜のような農作物 ・レトルト食品や缶詰、乾物
- ・調味料 ・飲料 ・お菓子等の食品(賞味期限が最低2か月以上)

企業・団体用



個人用



《ボランティアによるご協力》

配送物品の梱包などのボランティアによるご協力もお願いしております。右のQRコードよりボランティア登録をして頂きますと募集中のボランティア情報を随時メールにて共有させていただきます。是非ご登録をお願い申し上げます。



税額控除について

寄付者が法人（企業）の場合は、資本金等の額と所得の額の応じ算出した損金算入限度額までは損金算入（経費扱いに）できます。

一般損金算入限度額：（資本金などの額 × 0.25% + 所得金額2.5%） × 1/4

※ 詳しくは、国税庁ホームページ「一定の寄附金を支払ったとき(寄附金控除)」
をご参照ください。



= お問い合わせ先 =

一般社団法人FutureCreationN

✉ Email support@futurecreation2020.com

☎ TEL 090-6962-6590

〒617-0002 京都府向日市寺戸町岸ノ下25-102

<http://futurecreation2020.com>



FutureCreationN

